

ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

今市市と大田原市の女性連協のあゆみ (男女共同参画)

今市市		大田原市
婦人指導者研修	S 54	第1回婦人のつどい (以後毎年実施)
婦人団体連絡協議会設立 女性団体連絡協議会に改称 女性問題研修部設置 いまいち女性行動計画	S 58	
	S 61	
	H 4	
いまいち女性プラン改訂版	H 6	女性団体連絡協議会を結成 おおたわら女性プラン
	H 8	
	H 9	
いまいち女と男プラン <small>ひとひと</small>	H 14	おおたわら男女共同参画プラン
男女共同参画都市宣言 記念フォーラム(予定)	H 15	
243.52㎡ 63,451人 21,098世帯 農業 8% 工業 36% 商業・サービス業 56%	面積 人口 世帯 産業	133.80㎡ 55,035人 18,220世帯 農業 14% 工業 41% 商業・サービス業 46%

平成14年9月5日、初秋の日光国立公園の表玄関今市市において、大田原市より21名、今市市より15名が参加し、今市市・大田原市女性団体連絡協議会の交流会が行われました。

情報交換の交流だけにとどまらず、浄水場を視察研修したり、今市市特産の一つである花の生産現場に触れるという体験を共有しました。

男女共同参画社会について栃木県の中でも進歩的な活動を展開している今市市との交流により、大田原市の女性がより一層活躍することを期待します。

輝く女性たち
出会いふれあい



づくりと めざして

大田原市では1996年6月、男女の性差にかかわらず、豊かな人生を生きることが出来る社会の実現をめざして「おおたわら女性プラン」を策定し課題解決に積極的に取り組んできました。これまで推進してきた「おおたわら女性プラン」の成果を踏まえ、時代の変化に対応した見直しを行い2002年3月「おおたわら男女共同参画プラン」を策定しました。

と 高 揚

男女がそれぞれ一人の人間として、あらゆる場において対等であることを認め合い、生き方を尊重し合います。

促 進

女性の意見が反映できるシステムづくりを推進し、あらゆる機会を通して自己を高め、国際的視野で考え行動できる人材の育成に努めます。

の整備

職場での男女格差の解消、労働・雇用の平等をめざす各種法律や制度の趣旨・内容の周知及び普及を図ります。また女性が自分の能力を発揮して働けるよう母性の保護等の支援体制の充実をはかります。

庭生活

家庭における男女の理解と協力、介護保険制度の有効利用、地域住民の協力のもとで支援体制の整備、在宅福祉サービスの拡充に努めます。

増 進

母親が心身ともに健康で心豊かな生活をおくることは次代を担う子供たちの心身の健康を守ることになります。母親になる前の思春期から妊娠、出産、育児期を通して一貫性のある保健活動に努めます。

男女共同参画社会の人口 住みよいまちづくりを

大田原市女性行動計画の推進

男女平等意識の啓発と

女性の社会参加の

働く女性のための条件と環境

女性の福祉の向上と家

母性の尊重と健康の

祝 県知事賞



親園 高橋美保子さん

平成14年1月30日、宇都宮市文化会館において栃木県アグリライフフォーラムが行われました。その際、昨年度第一回大田原市女性の海外研修に参加した高橋美保子さんの意見発表が、栃木県知事賞に輝きました。

新しい自分 真の豊かさを求めて

高橋 美保子

私は農家に嫁いで二十七年、生活改善クラブの会員になって二十年、嫁、妻、母親として毎日が夢中で過ぎた気がします。

子供たちから手が離れた今、私にも自分を見つめ直す時間がもてるようになってきました。

家は養鶏業で卵の生産直売をやっています。生き物相手なので仕事は休めず、家の都合で自分なりに活動

や事業に参加して来ましたが、休んだ時は仲間が情報を聞かせてくれて会員でいることの喜びを噛みしめ、仲間たちに感謝しています。夫や、子供たちから「お母さん今日もおでかけ？」と冷やかされながらも協力的な家族に甘え、現在は栃木県ソフトボール協会のもと、公式審判員として活動しています。ソフトボールを通して地域に溶け込み、子供たちの健全育成の一助になればと考えています。

そんな私が自分の人生で最大の挑戦を決めたのは「やってみたら！」と薦めてくれた夫の一言でした。

大田原市独自の事業として女性の海外研修が実現するから応募してみたら：と、声をかけられ、その時は海外研修なんて私には遠い世界と思っていたのです。ところが昨年、男女共生を考える大田原のつどいの中で、「女性の皆さん、何事にも勇氣を持って挑戦してください」といわれた市長さんの一言は私に大きな勇氣と気付きを与えてくれました。「レッツ挑戦！」自分を励まし、家族や仲間と背中を押され第一回女性の海外研修に応募しました。小論文提出面接等、不安や、緊張がつづく中で唯一自信が持てたのは親からもらった健康な体だけでした。

団員決定の知らせは、正直、喜びより不安が先にたち、十日間も家を

空けたら仕事、食事の事、洗濯等々、次々に心配が広がり、「女ってバカだなあ、だからダメなんだ。」と独り呟いたものです。

海外研修初体験の私が研修で学んだことを皆さんに伝えるとしたら、参加する勇氣を行動に移したこと、それが一番だと自信をもっていえることです。

男だから女だから。農業者であるから非農家であるから。このような壁を取り払うことを決断しよう。同じ地域に住む生活者として、社会の一員として、手をつないで一歩ずつ前進していくことが、新しい自分の真の豊かさにつながっていくと信じています。

(原文より要約しました)

編集委員募集

(男女を問いません)

編集後記

第一回女性の海外研修生の方々の実績が実り始めています。家庭内で、女性団体の会で、ボランティアの場で、第二回海外研修生の皆さんも加わって今後ますます成果を見せてくれることと思います。市民のみんなが期待しています。

編集委員

子美子 愛真子
子美子 愛真子
子美子 愛真子
子美子 愛真子

(あいうえお順)



◎第2回
大田原女性の海外研修派遣事業

派遣先 フランス・オランダ

派遣人員 10名

派遣期間 H14・10・1～10

無事帰ってきました。次回は貴女が参加してみませんか。

◎第12回生涯学習フォーラム

期日 H14・11・30(土)

会場 大田原市総合文化会館ホール

内容 劇と実践発表

講演(講師 久里千春)

◎第19回男女共同

参画社会を考えるつどい

期日 H15・1・25(土)

会場 大田原市総合文化会館ホール

内容 第二回女性の海外研修報告

講演(講師 本岡典子)